データヘルス計画

第3期計画書

最終更新日：令和 6 年 03 月 29 日

小島健康保険組合

STEP１-１ 基本情報

組合コード	57699
組合名称	小島健康保険組合
形態	単一
業種	その他のサービス業

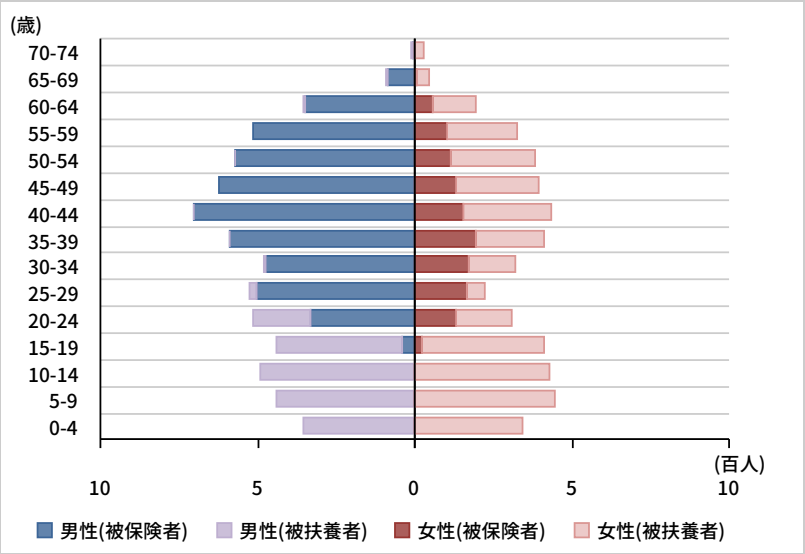
	令和6年度見込み	令和7年度見込み	令和8年度見込み
被保険者数 * 平均年齢は特例退職被保険者を除く	4,825名 男性79.4% （平均年齢42.49歳）* 女性20.6% （平均年齢38.9歳）*	-名 男性-% （平均年齢-歳）* 女性-% （平均年齢-歳）*	-名 男性-% （平均年齢-歳）* 女性-% （平均年齢-歳）*
特例退職被保険者数	0名	-名	-名
加入者数	11,609名	-名	-名
適用事業所数	29ヵ所	-ヵ所	-ヵ所
対象となる拠点数	29ヵ所	-ヵ所	-ヵ所
保険料率 *調整を含む	100.00‰	-‰	-‰

		健康保険組合と事業主側の医療専門職					
		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
		常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)
健保組合	顧問医	1	1	-	-	-	-
	保健師等	1	0	-	-	-	-
事業主	産業医	0	22	-	-	-	-
	保健師等	1	0	-	-	-	-

		第3期における基礎数値（令和4年度の実績値）
特定健康診査実施率 (特定健康診査実施者数÷特定健康診査対象者数)	全体	4,302 ／ 4,586 ＝ 93.8 %
	被保険者	3,353 ／ 3,390 ＝ 98.9 %
	被扶養者	949 ／ 1,196 ＝ 79.3 %
特定保健指導実施率 (特定保健指導実施者数÷特定保健指導対象者数)	全体	492 ／ 690 ＝ 71.3 %
	被保険者	462 ／ 609 ＝ 75.9 %
	被扶養者	30 ／ 81 ＝ 37.0 %

		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
		予算額(千円)	被保険者一人当たり金額（円）	予算額(千円)	被保険者一人当たり金額（円）	予算額(千円)	被保険者一人当たり金額（円）
保健事業費	特定健康診査事業費	8,005	1,659	-	-	-	-
	特定保健指導事業費	11,503	2,384	-	-	-	-
	保健指導宣伝費	7,678	1,591	-	-	-	-
	疾病予防費	147,581	30,587	-	-	-	-
	体育奨励費	100	21	-	-	-	-
	直営保養所費	0	0	-	-	-	-
	その他	2	0	-	-	-	-
	小計　…a	174,869	36,242	0	-	0	-
	経常支出合計　…b	3,525,600	730,694	-	-	-	-
	a/b×100　(%)	4.96		-		-	

令和6年度見込み



令和7年度見込み

令和8年度見込み

男性（被保険者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	38人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	330人	25～29	503人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	474人	35～39	590人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	705人	45～49	625人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	569人	55～59	512人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	350人	65～69	83人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	3人			70～74	-人			70～74	-人		

女性（被保険者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	20人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	134人	25～29	166人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	172人	35～39	193人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	153人	45～49	132人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	116人	55～59	104人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	57人	65～69	6人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	0人			70～74	-人			70～74	-人		

男性（被扶養者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	352人	5～9	439人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	490人	15～19	399人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	184人	25～29	23人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	3人	35～39	2人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	2人	45～49	0人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	2人	55～59	0人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	3人	65～69	3人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	5人			70～74	-人			70～74	-人		

女性（被扶養者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	342人	5～9	445人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	426人	15～19	388人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	177人	25～29	57人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	147人	35～39	218人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	280人	45～49	261人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	269人	55～59	223人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	135人	65～69	38人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	30人			70～74	-人			70～74	-人		

基本情報から見える特徴	・中規模な健保組合（被保険者数6,080人、被扶養者5,529人　計11,609人）である。 ・事業主の拠点は、愛知、岐阜、長野、岩手、東京、福岡に及ぶ29拠点である。 ・被保険者は、40～44歳台が多く男性705人(被保険者全体11.6%）、被扶養者は、10～14歳台の乳幼児男子が多く490人（被扶養者全体8.9%）。0～4歳台は男性352人（被扶養者全体6.4%）女性342人（被扶養者全体6.2%）。いわゆる、子供世代の年代の中では、その割合が最も低く、少子化の状態となっている。

STEP１-２ 保健事業の実施状況

保健事業の整理から見える特徴
a事業主の協力のもと、豊富な各種健康診断（特定健診、人間ドック、歯科健診、抗加齢ドック等）の実施で組合員の健康管理を長年にわたり継続している。
ｂ適正給付を目的に、各種通知（医療費通知、ジェネリック差額通知、柔整医療費通知）定期的に発出し、組合員のリテラシーを向上させている。
c組合員の運動習慣率の向上を目指した活動を充実させている。（インセンティブ事業「健康チャレンジ」、健康管理センター「リフレッシュエクササイズ」、オンラインウォーキング大会等）

事業の一覧

職場環境の整備	
加入者への意識づけ	
予算措置なし	事業所別健康白書発行
予算措置なし	事業所別医療費分析レポートの配布
個別の事業	
特定健康診査事業	特定健康診査
特定保健指導事業	特定保健指導
保健指導宣伝	保健指導
保健指導宣伝	地域巡回健診等　有所見者受診勧奨
保健指導宣伝	医療費通知
保健指導宣伝	ジェネリック差額通知
保健指導宣伝	柔整医療費通知
保健指導宣伝	接骨院のかかり方通知
保健指導宣伝	育児情報誌「赤ちゃんと！」の配布
保健指導宣伝	家族で取組みかぜ＆むし歯予防
疾病予防	歯科健診
疾病予防	人間ドック診査
疾病予防	家族健康診査
疾病予防	タスキで繋ごう家族・仲間の和の大会
疾病予防	インセンティブ事業「健康チャレンジ」
疾病予防	家庭用常備薬の補助斡旋
疾病予防	脳ドック受診料補助
疾病予防	インフルエンザ予防接種の補助
疾病予防	救急箱衛生用品の提供
疾病予防	禁煙外来補助
疾病予防	禁煙チャレンジ活動
疾病予防	健康川柳の実施
疾病予防	オンラインウォーキング大会
その他	抗加齢ドック診査
その他	eGFR保健指導
その他	健康管理センター「リフレッシュエクササイズ」
予算措置なし	体育施設「やわらぎ森のスタジアム」
事業主の取組	
1	健康診断
2	一般保健指導
3	インフルエンザ予防接種
4	海外赴任前予防接種
5	高残業者健康管理
6	長期休職者の職場復帰管理
7	メンタルヘルスカウンセリング
8	メンタルヘルス教育
9	ストレスチェック

10	女性の健康セミナー
11	コジウォーク

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1)事業分類	事業名	事業目標	対象者				事業費(千円)	振り返り			注2)評価
				対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
職場環境の整備												
加入者への意識づけ												
予算措置なし	1	事業所別健康白書発行	事業主に対して、被保険者の健康状況を報告と共有で、健康経営に資して頂くことを目標とする。将来的には、事業主と連携した健康宣言の策定する。	全て	男女	18～74	被保険者	0	・健康白書を1社作成（栄和会館）に展開した。	・事業主との意見交換ができ、健康経営への土壌づくりが継続された。	・特になし	4
	1	事業所別医療費分析レポートの配布	年1回4月に全事業所に配布する。会社の健康経営に役立て頂き、健保と事業主間で健康課題を共有する。	全て	男女	18～74	被保険者	0	日本生命保険相互会社「事業所別医療費分析レポート」を年1回4月に全事業所に配布した。	小島プレスの健康推進課による各社訪問時に配って頂いた。	経年で経過を見ないと健康状況の評価はできない。	5
個別の事業												
特定健康診査事業	3	特定健康診査	・メタボリックシンドロームに注目した健康状況の把握及びリスク者のスクリーニングが目標。 ・2022年度（H34）に国の目標値である、実施率90%を目標とする。	全て	男女	40～74	被保険者,被扶養者	8,258	○全体　4,302名/4,586名 93.81% ・本人　3,353名/3,390名　98.91% ・家族　949名/1,196名　79.35%	本人・家族とも目標の受診率を達成できた。（各社担当者によるフォローの成果）	扶養者の受診率をさらにアップさせる。	5
特定保健指導事業	4	特定保健指導	・メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）低減化が目標 ・2023年度（H35）までに全体の実施率を42.3%（H28）から56.0%を目標とする。内訳：動機付け支援48.19%（H28)→62.0%　積極的支援38.4%（H28)→51.5%	全て	男女	40～74	被保険者,被扶養者	11,706	○特定保健指導対象者 715名 ・動機づけ 333名・積極的 382名 ○特定保健指導実施人数 333名 ・動173名 ・積160名※年度内で初回＆終了者 ・終了のみ 153名 (・動71名 ・積82名) ・初回のみ 191名 (・動82名 ・積109名) ○実施率 68.0%　(486/715) ※(実施+終了)/対象者 ・動機づけ 73.3% (244/333) ・積極的 63.4% (242/382)	・指導期間の短縮（６ヶ月→３ヶ月）により、受診者の負担が減り継続率が上がった。 ・医療センターに依頼し、途中脱落者が減った。K/Pも秋から医療センターに依頼しているため、更なる脱落者減少が期待できる。	毎年支援対象になる方のモチベーション	5
保健指導宣伝	1,4	保健指導	人間ドックの有所見者に受診勧奨を行い、重症化防止を狙うことが目標	全て	男女	18～74	被保険者	2,160	対象者519名 実施人数 519名 ・医療ｾﾝﾀｰ 446名 ・岡崎 51名 ・岐阜 19名 ・保健支援 3名	・各健診機関と事業所が、頑張って抽出・調整・指導を行ってくれた。 ・K/Pの保健指導が定期的に実施されるようになった。	レセプト確認の時間がない。	5
	4	地域巡回健診等　有所見者受診勧奨	地域巡回健診受診者の有所見者で受診勧奨結果報告書の未提出者に対して葉書で受診勧奨通知を送り、受診を促すことを目的とする。（個別に受診勧奨）	全て	女性	18～74	被扶養者	20	＜巡回健診受診者＞ ○受診勧奨者 前期：254名/424名 59.9%　後期：120名/194名 61.9%　計：374名/618名　60.5% ○報告書提出者　前期：47名/254名 18.5%　後期：4名/120名　3.3% 計：51名/374名　13.6% ○レセ受診済者　前期：86名/254名 33.9%　後期：48名/120名　40.0% 計：134名/374名　35.8% ○未受診その他者　前期：121名/254名 47.6%　後期：68名/120名　56.7% 計：189名/374名　50.5% 内）受診勧奨通知送付 前期：77名　後期：61名　計138名	昨年度より、受診結果報告の返信が増えた。（7.7%→13.6%）	■未受診者が半数近くいる。 ■レセプト確認に時間がかかる。	5

予算科目	注1)事業分類	事業名	事業目標	対象者				事業費(千円)	振り返り			注2)評価
				対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
	2	医療費通知	自分の医療費の中身を知り、限りある保険料に無駄が生じないよう適正受診を促すことを目標とする	全て	男女	0～74	加入者全員	0	・年間WEBアクセス合計　6,643回（月平均554回） ・紙通知を2月に226件配布した。	人事ショットガンに医療費通知ページをIT企画部に創設して頂いた事でアクセス数が伸びた。	医療費通知閲覧においては、マイナポータル利用の促進を図りたい。	5
	7	ジェネリック差額通知	後発医薬品を推奨し、医療費負担軽減することを目標とする	全て	男女	0～74	被保険者,被扶養者	780	＜通知者数＞ 4月296人　7月294人　10月299人　1月258名合計1,147人 ＜R4年度実績＞ 4月 79.5%　5月 81.2%　6月 79.2% 7月 81.2%　8月 81.2%　9月 79.6% 10月81.1%　11月80.2%　12月82.1% 1月 81.3%　　平均 80.66%	目標の81%までは届かなかったものの、少しずつ増加傾向。通知対象者は、全体との差を縮める形で増加している為、通知の効果は表れている。	ジェネリック差額通知の広報活動推進	4
	2,8	柔整医療費通知	接骨院治療者で１０ヵ月以上の長期治療者を対象に医療費通知を行い、適正受診かどうかを見極めて頂くことを目標とする。	全て	男女	0～74	加入者全員	118	４か月以上受診され15,000円以上の施術者 ８月に38名に通知　２月に 34名に通知 年度削減額　1,058,408円	長期、高額受診者に対して、牽制機能を果たした。	通知対象者は確実に件数、頻度が大幅に減りますが、通知対象にならないが継続的にかかられている方もみえる。	4
	2	接骨院のかかり方通知	計画とおり通知する	全て	男女	0～74	被保険者,被扶養者	100	初めて接骨院にかかる方への通知を毎月平均20通ずつ発信。	なし	・コロナの受診控えが無くなったのかレセ件数が増えてしまった。 ・掛かってしまった後の通知であるため、レセ件数として効果が出にくい。	3
	8	育児情報誌「赤ちゃんと！」の配布	初出産の奥様とご主人の育児本として役立て頂くことが目標	全て	男女	18～50	被保険者,被扶養者	160	【R4.4～R5.3実績】 初回・・・57件　継続購読・・・15件 ﾘﾋﾟｰﾄ率　⇒　26.3%	なし	リピート率が減少した。 （R3　33.3%　⇒　R4　26.3%）	5
	2,4	家族で取組みかぜ＆むし歯予防	計画とおり実行	全て	男女	5～8	被扶養者	504	795世帯に発送 達成賞　８６名/７９５世帯＝10.8%	コロナ第５類移行の通達前に当年度事業が終わったため、コロナ対策として行っている手洗いが相まってがたくさんの人が達成した。	第５類移行の通達後の風邪にかかる医療費がとても増大している。第５類移行の通達によって意識がj変化がかなりあったと推測される。来年こそこの事業の出番なので、対象者の見直しなどを行い積極的に進めていきたい。	3
疾病予防	3,4	歯科健診	虫歯、歯周病の早期発見、早期治療につなげることを目標とする	全て	男女	4～74	加入者全員	16,613	旺志会　・本人 3,619名　・家族 187名 愛知県　・本人 478名・家族 355名 岐阜県　・本人2名 ・家族0名 長野県　・本人1名 ・家族0名 岩手県　・本人4名 ・家族0名 東京都　・本人0名　・家族 0名 福岡県　・本人3名　・家族0名 小計　・本人 4,107名/6,047名＝67.9% ・家族 542名/6,124名＝8.9% 合計　4,649名/12,171名＝38.1%	旺志会が事業所に赴く、または豊田地域医療センターで会場を借りいれ実施する活動が定着している為。	愛知県以外での受診が少ない。	4
	3	人間ドック診査	癌、生活習慣病の早期発見と早期治療へつなぐことを目標とする	全て	男女	30～74	被保険者,被扶養者	55,234	社員 4,739名/4,780名中 99.1% 任継　　46名/74名 62.2 %	各社担当者がしっかり受診を促している。	特になし。	5
	3	家族健康診査	配偶者の癌、生活習慣病の早期発見と早期治療へつなぐことを目標とする	全て	女性	20～74	被扶養者	5,988	●受診者数 外部委託健診機関　607名 地域巡回健診（前期）　424名 地域巡回健診（後期）　194名 受診者数：1,225名 対象配偶者人数:　1,601名(12月時点) 受診率 76.5%	・配偶者の未提出者フォローで58人申込みがあった。（内　巡回へ4人申込み） ・未受診者への受診勧奨通知で、113人申し込みがあった。	扶養者の受診率をさらにアップさせる。	5
	5	タスキで繋ごう家族・仲間の和の大会	組合員の運動習慣へのきっかけづくりを目標とする	全て	男女	1～74	加入者全員	0	コロナで本大会を中止。代替イベントとして、QOLismアプリを活用して１日限定ウォーキングイベントをこじま杯開催の日にやわらぎ森のスタジアムで開催。244人にエントリー頂いた。	アプリ登録のきっかけとなり、扶養者の登録を促すこともできた。	ゼロベースで企画自体の見直しを行い、来年度は開催できないか検討する。	3
	5	インセンティブ事業「健康チャレンジ」	加入者の健康行動へのきっかけと継続できるよう支援ツールとしての役目を果たすことを目標とする	一部の事業所	男女	18～74	加入者全員	708	アプリ登録者　3/31時点 3255人/6047人＝53.3%	KP健康推進課による推進活動や各社独自イベントの実施を通じて、登録者を増やす事ができた。	登録者が増えて半面でログイン率が昨年より低下しており、実質的に利用されていない事がわかった。	5

予算科目	注1)事業分類	事業名	事業目標	対象者				事業費(千円)	振り返り			注2)評価
				対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
	8	家庭用常備薬の補助斡旋	ケガや病気の初期対策で適正受診に繋げることを目標とする	全て	男女	18～74	被保険者	6,564	・常備薬申込数＝4413件（6053人中72.9%） ・WEB申込人数＝4240件（4413件中96.07%）	WEB申込方法をフリーサイト方式でやった。	■クラウドを使用する時のセキュリティチェックシートの存在を知らず、対応が大変だった。 ■申込期日を過ぎても勝手にあまの創健へFAXする人、FAXは1種類のみの受付にもかかわらず、別の商品を希望してくる人がいた。	4
	3	脳ドック受診料補助	脳疾患の早期発見、早期治療へつなぐことを目標とする	全て	男女	18～74	被保険者	1,016	ハイリスク：33名　リスク：61名　計　94名	なし	なし	4
	3	インフルエンザ予防接種の補助	インフルエンザ予防と重症化回避を目標とする	全て	男女	4～74	加入者全員	8,390	【NPOあいち】・本人 930名　家族 1,013名 【健保処理】・本人 1,471名　家族 591名 【総計】本人　2,401名(2,401/6,047=39.7%) 家族　1,604名(1,604/6,124=26.1%) 合計　4,005名(4,005/12,171=32.9%)	・補助券による申請方法が定着してきた。	なし	4
	8	救急箱衛生用品の提供	被保険者に対する応急手当を行う	全て	男女	18～74	被保険者	151	11月までの納品　全49回　九州小島1回・KP14回・フレックスキャンパス11回・大和6回・真和5回・栄和6回・やわらぎ2回・プラマック1回・内浜1回・丸和1回・明和1回	無駄な発注が減った。	事業継続の在り方を見直す。	5
	5	禁煙外来補助	参加者50名	全て	男女	20～74	被保険者	0	・申込者　0名 ・支給者　0名	なし	申込者が０。PRが届いていないかも知れない。	1
	2,5	禁煙チャレンジ活動	禁煙チャレンジ達成者100名	全て	男女	20～74	被保険者	15	職域接種対応が入り、今年度分中止 昨年の１年チャレンジにおいては6-7月実施分で3名達成。	１年チャレンジの達成者が一定数いる。	●参加者がそこまで多くない ●QUOカードが栄和で購入できなくなったので、別のインセンティブを検討したい。	1
	2	健康川柳の実施	応募点数300点	全て	男女	18～65	被保険者	20	・応募点数189点　入賞者23名 ・上位３賞ともに食事が関連し、体重への懸念を抱く句が詠まれた。また、健康アプリによる、歩くことを詠まれた。	QOLismアプリから川柳を直接応募できる点。	今後も実施し、定着させたい。 アプリ登録者も3,000人を超えたので、応募点数も増やしていきたい。	3
	2,5	オンラインウォーキング大会	参加人数それぞれ５００人	全て	男女	18～65	被保険者,被扶養者	100	ウォーキングイベントの内容として、歩数ランク別抽選を実施した。 参加者　春600人、冬537人	各社単独で開催して頂いたイベントと相まって参加者が増えたと思われます。	目標をクリアしたが、登録人数からすると、参加率18%、組合員数からすると５%とまだまだである。	5
その他	3,5	抗加齢ドック診査	被保険者と被扶養者に対して「老化の兆候」に注目した抗加齢ドックを5歳刻みの節目年に受診、老化度判定を行うことで健康寿命延伸にお役立て頂くことを目標とする。	一部の事業所	男女	25～55	被保険者,被扶養者	11,766	受診時期4月から3月末 対象者 798名 受診者 729名（前年776名）	・年間計画とおり実施できた	・コロナ禍につき、引き続き呼吸器系検査や口腔内環境検査が中断中である。	4
	4,6	eGFR保健指導	eGFR基準値45以下の被保険者を対象に医師と看護師で病院の補完的検査と相談を行い、糖尿病腎症の手助けを目標とする。	一部の事業所	男女	40～60	被保険者	24	eGFR基準値60以下の被保険者を対象に抽出者122名。保健指導は、4名実施。	抽出は予定とおりできた。 服薬コントロールが上手くできていない方に対して、主治医と連携ができた。	実施対象者が意外と少ない。	3
	5	健康管理センター「リフレッシュエクササイズ」	被保険者の運動のきっかけづくりと運動不足解消を目標とする。	一部の事業所	男女	18～65	被保険者	1,296	【開催回数と参加者】 ヨガ21回、127名 エアロビクス20回、142名 太極拳19回、97名 合計　60回、366名	・ZOOMによる配信も実施し、参加者が増えた。 ・強化月間を年2回実施し、アプリのポイント増量を果たすことで参加者が増えた。	・参加者が固定気味である。 ・新規参加者をどのように増やしていくかが課題。	3

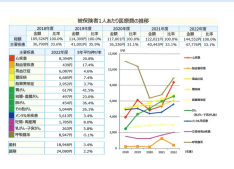
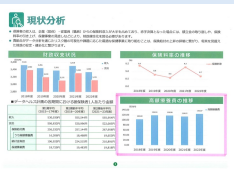
予算科目	注1)事業分類	事業名	事業目標	対象者				事業費(千円)	振り返り			注2)評価
				対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
予算措置なし	5	体育施設「やわらぎ森のスタジアム」	組合員の運動習慣への動機付けとその機会を提供することを目標とする	全て	男女	0～（上限なし）	加入者全員	0	人数制限の上で各種イベント等を再開した。 10月こじまフェスティバル 11月こじま杯 同好会によるフットサルの練習も再開された。	なし	R5年度は、コロナ前のように会社行事も徐々に再開が見込まれている。	2

注１）１．職場環境の整備　２．加入者への意識づけ　３．健康診査　４．保健指導・受診勧奨　５．健康教育　６．健康相談　７．後発医薬品の使用促進　８．その他の事業
注２）１．39%以下　２．40%以上　３．60%以上　４．80%以上　５．100%

事業名	事業の目的および概要	対象者			振り返り			共同実施
		資格	性別	年齢	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
事業主の取組								
健康診断	安衛法に基づく、雇入・定期・特殊・行政指導・海外渡航健診を実施。	被保険者	男女	18～65	全従業員に対して実施。	就業時間中に実施。未受診者は、安全衛生部署からの受診勧奨を実施。	特になし。	無
一般保健指導	健康診断の事後措置として、保健指導を実施	被保険者	男女	18～65	産業医の指示で対象者を決め、実施した。	対象者には、業務調整の上、直属の上司経由で案内を送付。	毎年対象となってしまう方への効果に結びつく指導内容の確立。	無
インフルエンザ予防接種	従業員のインフルエンザの集団感染予防として	被保険者	男女	18～65	・１２月に各工場で実施 ・三河安城クリニックに要請	健保の補助のお陰で、安価に接種できる。	特になし	無
海外赴任前予防接種	海外赴任者への予防接種を健康管理センターにて実施。	被保険者	男性	25～65	22名/62件接種。（2016.1～12） 内訳：インドネシア13名、タイ5名、インド4名	会社と健康管理センターで接種日が調整しやすく利便性が高い。	特になし	無
高残業者健康管理	管理職、一般職を対象に高残業基準を設け、健康ヒアリング等を行う	被保険者	男女	18～60	・85時間/月以上残業者（一般職）と100時間/月以上残業者（管理職）84名に産業医面談を実施。 ・45.25時間/月以上残業者（一般職）3250名に対して管理職による健康ヒアリングを実施	毎月、安全環境課から関係部次長へ展開しており、高残業者の健康把握がしくみ化されている。	産業面談を実施する上で多忙の方が多く、日程調整に時間がかかる。	無
長期休職者の職場復帰管理	1か月以上の休職者には、職場復帰前に産業医面談を行い、就業上の安全配慮を行う	被保険者	男女	18～65	・復職面談延べ23人 ・復職後フォロー面談延べ73人 （2016年1月～12月）	診断書情報をもとに十分な個人情報保護の上、進めている。	メンタル疾患者は職場復帰後、再発休職のケースがみられる。	無
メンタルヘルスカウンセリング	健康管理センターの臨床心理士がメンタル不調者からの申し出によりカウンセリングを行う	被保険者	男女	18～65	カウンセリング回数…復職者を中心に延べ188回（2016年1月～12月）	PRがいき届いている	配置替えや業務調整では効果がだしにくいパーソナル的要因に苦慮する	無
メンタルヘルス教育	健康管理センターの臨床心理士が新入社員、入社４年目、新任管理職等を対象に行う	被保険者	男女	18～60	各階層ごとに年１～２回実施。また、グループ会社の安全衛生衛生委員会主催の講演も行っている。	各階層へのメンタルヘルス疾病予防への意識付けが図れている	気づき教育なので、繰り返し行うしか手がない。	無
ストレスチェック	労働安全衛生法に基づき全社員に対してストレスチェックを行う	被保険者	男女	18～65	・配布回収期間…9月1日～15日 ・実施機関…豊田地域医療センター ・配布数…1635枚 ・受検者…1604名　受検率…98.1%	・健診機関が実施先であるので安心感がある。	・高ストレス者へのフォロー	無
女性の健康セミナー	女性限定の健康セミナーで女性抱える健康上の悩みを解決する。	被保険者	女性	18～65	年１回７月に開催 時間：昼休み 形式：オンライン	特になし	大塚製薬にお願いしていたが、辞退されたので、健康動画視聴に切り替える。	無
コジウォーク	運動習慣者比率の向上 を目指すため、オンラインウォーキングを行う。	被保険者	男女	18～65	実施時期　10/9 ～11/8 の１ヶ月間	・個人戦と組合戦で盛り上げを図る。 ・豪華賞品を目玉に参加のきっかけとする。	継続実施が大切。	無

STEP 1-3 基本分析

登録済みファイル一覧

記号	ファイル画像	タイトル	カテゴリ	コメント
ア		被保険者1人あたり医療費の推移	医療費・患者数分析	被保険者1人あたり医療費をみると、心疾患、高血圧症、糖尿病が多い。5年平均伸び率をみると、胃がん、肺がんに伸び率が高くなっている。
イ		高額療養費の推移	医療費・患者数分析	直近5年の高額療養費は、増加傾向である。
ウ		年間100万円以上の医療費状況	医療費・患者数分析	年間100万円以上の医療費割合は、28%。その構成割合では、心疾患が9.1%、その他のガンが5.7% 、メンタル疾患が3.4%の順序となった。
エ		特定健診の受診状況	特定健診分析	受診率は、年々上昇しており、常に80%を超えている。（健保平均を上回っている） 2022年度　小島　84.4%　健保平均　80.5%
オ		質問票の状況	特定健診分析	2020年度において、 飲酒率が健保平均81.7%に対して、小島は88.9%で低く良好である。 運動習慣率は健保平均23.3%に対して、小島は19.6%で少ない。 喫煙率が健保平均24.5%に対して、小島は29.9%で高い。
カ		特定保健指導の実施状況	特定保健指導分析	2022年度対象者率は17.2%で、実施率は63.3%であった。

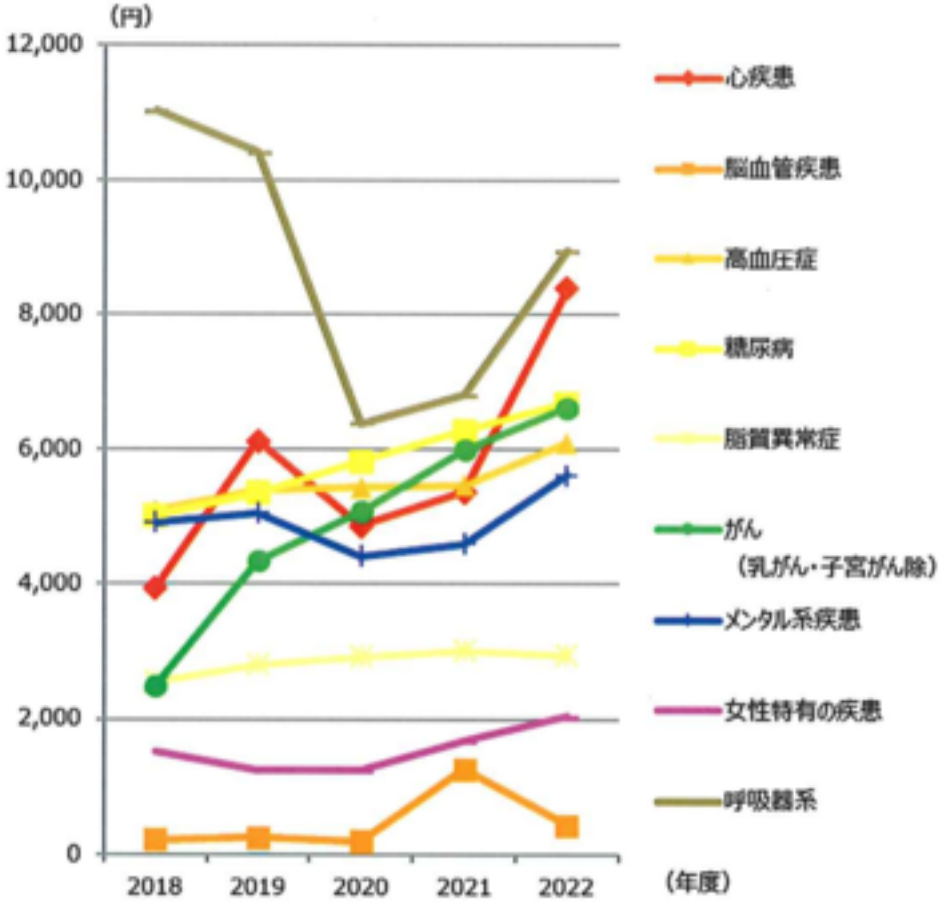
キ		主要疾患分析(高血圧、脂質異常症、糖尿病）	健康リスク分析	・高血圧、脂質異常症、糖尿病のリスク高の方の割合は、健保平均よりも低い。 ・その中で脂質異常症のリスク高が2022年度　27.4%と最も高い。
ク		主要疾患分析（循環器）	健康リスク分析	循環器（心疾患、脳血管疾患）に対するリスク分析では、脂質異常症のリスク高の方が2022年度　27.4%　1,264人を占め最も高かった。年代別では、50歳台が80%を超えた。　次いで、②喫煙23.9%、③高血圧症15.8%、④糖尿病3%の順となった。

被保険者1人あたり医療費の推移

	2018年度		2019年度		2020年度		2021年度		2022年度	
	金額	比率	金額	比率	金額	比率	金額	比率	金額	比率
総額	109,526円	100.0%	114,309円	100.0%	117,001円	100.0%	122,021円	100.0%	144,552円	100.0%
主要疾患	36,790円	33.6%	41,001円	35.9%	36,336円	31.1%	40,443円	33.1%	47,776円	33.1%

主要疾患	2022年度	5年平均伸び率
心疾患	8,394円	20.8%
脳血管疾患	439円	17.4%
高血圧症	6,087円	4.6%
糖尿病	6,685円	7.4%
脂質異常症	2,952円	3.7%
胃がん	617円	41.5%
結腸・直腸がん	497円	23.0%
肺がん	454円	36.4%
その他がん	5,044円	26.1%
メンタル系疾患	5,613円	3.4%
妊娠・周産期	1,785円	8.0%
乳がん・子宮がん	263円	5.8%
呼吸器系	8,947円	-5.1%

歯科	18,948円	3.4%
調剤	24,080円	2.2%



現状分析

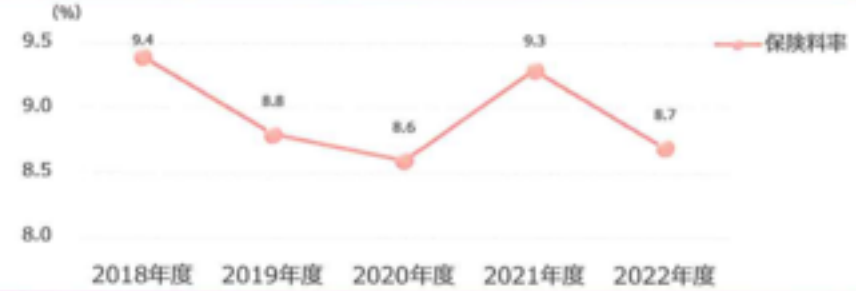
- 保険者の収入は、企業（団体）・従業員（職員）からの保険料収入が大半を占めており、赤字決算となった場合には、積立金の取り崩しや、保険料率の引き上げ、保健事業の見直しなどにより、財政健全化を図る必要があります。
- 貴組合がデータ分析を通じたリスク層の可視化や課題に応じた最適な保健事業に取り組むことは、保険給付の上昇の抑制に繋がり、将来を見据えた財政の安定・健全化に繋がります。

財政収支状況

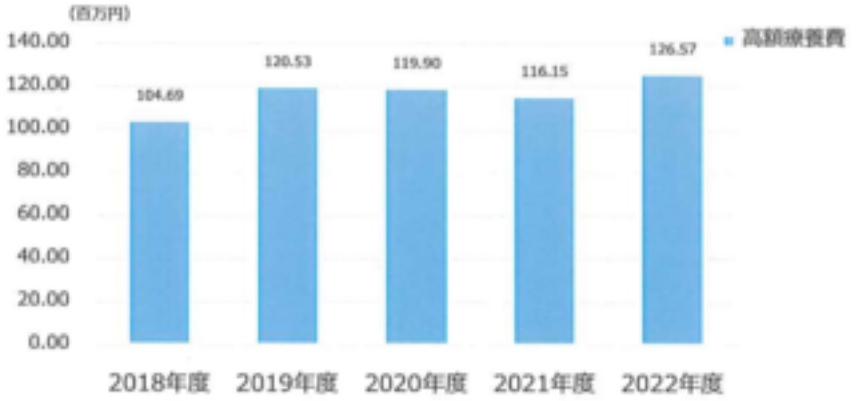
■データヘルス計画の各期間における被保険者1人あたり金額

	第1期平均（2015～17年度）	第2期前半平均（2018～20年度）	第2期後半平均（2021～23年度）
収入	530,030円	555,544円	555,954円
支出	506,832円	520,996円	522,005円
保険給付費	256,532円	257,144円	267,958円
うち高額療養費	16,206円	18,468円	19,653円
納付金負担	196,925円	224,515円	210,891円
保健事業費	18,720円	19,483円	19,818円

保険料率の推移



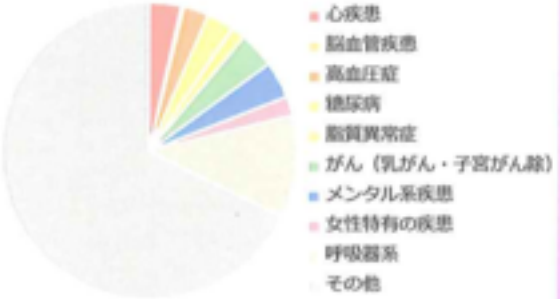
高額療養費の推移



現状分析

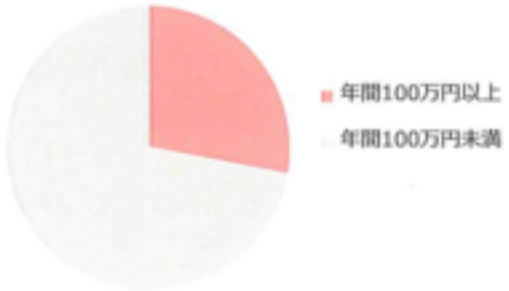
医療費の構成要素（2022年度）

【医療費の構成割合】



主要疾患等	医療費	割合
心疾患	61百万円	3.5%
脳血管疾患	5百万円	0.3%
高血圧症	46百万円	2.7%
糖尿病	51百万円	3.0%
脂質異常症	27百万円	1.6%
胃がん	4百万円	0.2%
大腸がん	8百万円	0.5%
肺がん	15百万円	0.9%
その他がん	38百万円	2.2%
メンタル系疾患	68百万円	4.0%
妊娠・周産期	27百万円	1.6%
乳がん・子宮がん	9百万円	0.5%
呼吸器系	191百万円	11.1%
その他	1,161百万円	67.8%
歯科	229百万円	13.4%
調剤	319百万円	18.6%

【年間100万円以上の医療費割合】



	医療費合計	割合
年間100万円以上	478百万円	28.0%
年間100万円未満	1,233百万円	72.0%

【年間100万円以上の構成割合】

主要疾患等	医療費	割合
心疾患	44百万円	9.1%
脳血管疾患	2百万円	0.4%
高血圧症	12百万円	2.5%
糖尿病	11百万円	2.3%
脂質異常症	2百万円	0.3%
胃がん	2百万円	0.3%
大腸がん	6百万円	1.2%
肺がん	14百万円	3.0%
その他がん	27百万円	5.7%
メンタル系疾患	16百万円	3.4%
妊娠・周産期	15百万円	3.2%
乳がん・子宮がん	3百万円	0.7%
呼吸器系	13百万円	2.7%
その他	311百万円	65.1%
歯科	6百万円	1.3%
調剤	52百万円	10.9%

将来医療費予測

現状	医療費合計
2022年度	1,711百万円

予測結果	医療費合計	増加率
2025年度	1,725百万円	+0.8%

○予測値は、当社が保有する匿名加工情報を活用し統計的な手法により開発した予測モデル*を用いて、直近1年分の加入者の健康診断結果・レセプトデータをもとに、3年後の総医療費を予測したものです。
*当予測と、本レポートP.6の各リスクの将来予測の予測手法は異なります。
なお、予測値において、対象期間中における新規加入や退職等による人数の変動は見込んでおりません。
○予測の正確性に関する保証は一切いたしません。また、今後の予測モデルの改良等により、事前に通知なく結果が変わることがあります。

現状分析

健診受診状況

【定期健診（40歳未満）受診状況】

	2020年度	2021年度	2022年度
対象者数	3,014人	2,843人	2,689人
受診者数	-	-	-
受診率	-	-	-
受診率　(健保平均)	68.8%	68.8%	-

【特定健診（40歳以上）受診状況】

	2020年度	2021年度	2022年度
対象者数	4,505人	4,570人	4,620人
受診者数	3,746人	3,855人	3,970人
受診率	83.2%	84.4%	85.9%
受診率　(健保平均)	77.9%	80.5%	-

【リスク階層（2022年度）】

		保健指導判定基準該当※	受診勧奨判定基準該当※	治療歴あり
40歳未満	腹囲	-	-	-
	血圧	-	-	62人
	脂質	-	-	183人
	血糖	-	-	194人
	肝機能	-	-	254人
	腎機能	-	-	17人
40歳以上	腹囲	1,251人	-	-
	血圧	514人	444人	886人
	脂質	894人	961人	985人
	血糖	537人	30人	790人
	肝機能	675人	306人	459人
	腎機能	329人	17人	70人

※「リスク階層」の判定基準

項目		保健指導判定基準	受診勧奨判定基準
腹囲	男性 女性	≧85cm ≧90cm	－ －
血圧	収縮期血圧 拡張期血圧	≧130mmHg ≧85mmHg	≧140mmHg ≧90mmHg
脂質	中性脂肪 HDL LDL Non-HDL	≧150mg ≦39mg/dl ≧120mg/dl ≧150mg/dl	≧300mg/dl ≦34mg/dl ≧140mg/dl ≧170mg/dl

項目		保健指導判定基準	受診勧奨判定基準
血糖	空腹時血糖 HbA1c 随時血糖	≧100mg/dl ≧5.6% ≧100mg/dl	≧126mg/dl ≧6.5% ≧126mg/dl
肝機能	AST(GOT) ALT(GPT) Γ-GT(γ-gtp)	≧31U/L ≧31U/L ≧51U/L	≧51U/L ≧51U/L ≧101U/L
腎機能	eGFR	<60ml/分/1.73㎡	<45ml/分/1.73㎡

左記基準を用いて、健診結果からリスク階層を判別しています。

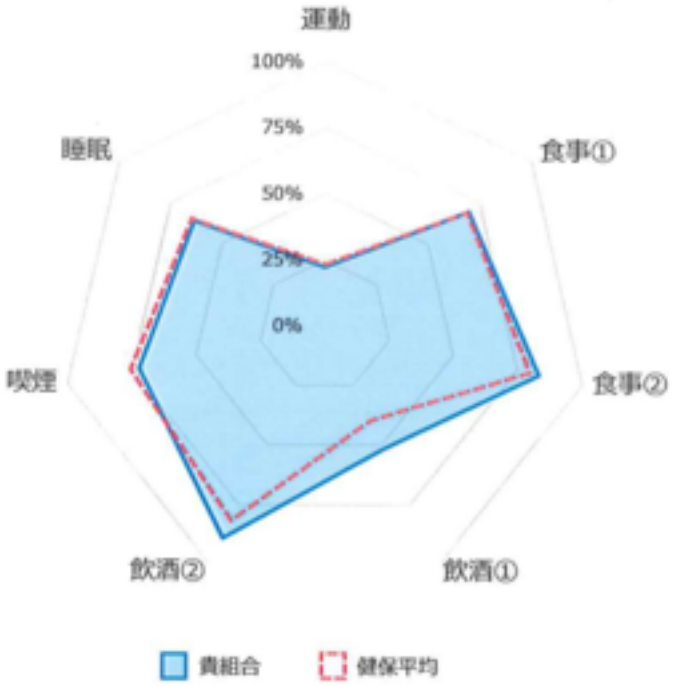
加入者の健康状態に対して、医師の医学的判断に基づく疾病の診断を行うものではありません。

参照：「標準的な健診・保健指導プログラム 平成30年度版」(厚生労働省)

現状分析

生活習慣分析

【質問票の状況（2022年度）】



※レーダーチャートの図形は大きいほど良い状態

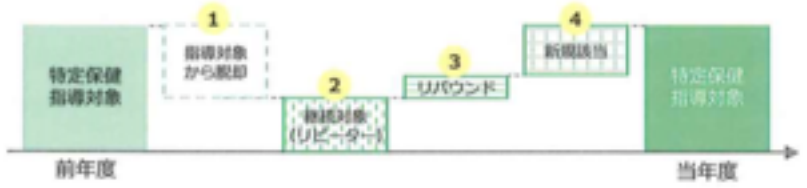
		2020年度	2021年度	2022年度	健保平均（2020年度）
運動	1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施	19.6%	20.4%	22.2%	23.3%
食事①	就寝前2時間以内に夕食をとることが週に3回未満	70.6%	70.1%	69.6%	68.9%
食事②	朝食を抜く頻度が週に3回未満	83.6%	83.9%	83.2%	79.7%
飲酒①	飲酒をほとんどしない	49.6%	51.6%	51.5%	39.9%
飲酒②	1日あたり飲酒量が2合未満	88.9%	89.2%	88.8%	81.7%
喫煙	現時点で喫煙習慣がない	70.1%	71.6%	72.2%	75.5%
睡眠	睡眠で十分な休養がとれている	65.1%	63.9%	63.7%	64.9%

※健保平均より数値が小さい場合にハイライトしています

現状分析

特定保健指導の実施状況

<特定保健指導対象の考え方>



保険者共通の評価指標

アウトプット指標　アウトカム指標

【特定保健指導実施状況】

	2020年度	2021年度	2022年度
健診受診者数	3,746人	3,855人	3,970人
指導対象者数	651人	670人	682人
対象者割合	17.4%	17.4%	17.2%
実施者数	407人	466人	432人
実施率	62.5%	69.6%	63.3%
実施率　(健保平均)	27.0%	31.1%	-

【 1 指導対象からの脱却状況】

	2019年→2020年	2020年→2021年	2021年→2022年
脱却者数	216人	251人	231人
改善脱却	129人	139人	134人
脱却率	59.7%	55.4%	58.0%
服薬治療	38人	46人	47人
その他	49人	66人	50人

【 2 継続対象者（リピーター）の状況】

	2019年→2020年	2020年→2021年	2021年→2022年
1年で改善脱却	79人	86人	82人
継続対象者数	399人	400人	439人
2年継続	120人	122人	143人
3年継続	-	67人	81人
4年継続	-	-	54人
5年以上継続	-	-	161人

【 3 リバウンド状況】

	2019年→2020年	2020年→2021年	2021年→2022年
リバウンド者数	57人	72人	70人
1年後にリバウンド	57人	54人	43人
2年後にリバウンド	-	18人	19人
3年後にリバウンド	-	-	8人

【 4 指導対象への新規該当状況】

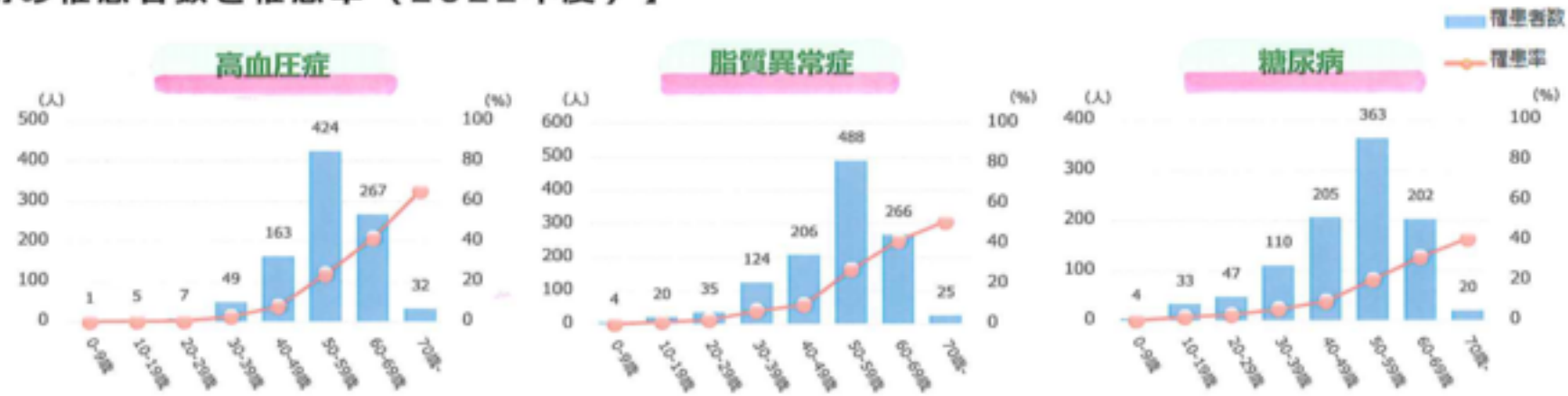
	2019年→2020年	2020年→2021年	2021年→2022年
新規該当者数	186人	170人	139人
40歳到達同時	28人	49人	35人
40歳到達済	158人	121人	104人

	BMI/腹囲	血圧/脂質/血糖
35-39歳における基準抵触状況	-	-

現状分析

主要疾患分析（高血圧・脂質異常症・糖尿病）

【年齢別の罹患者数と罹患率（2022年度）】



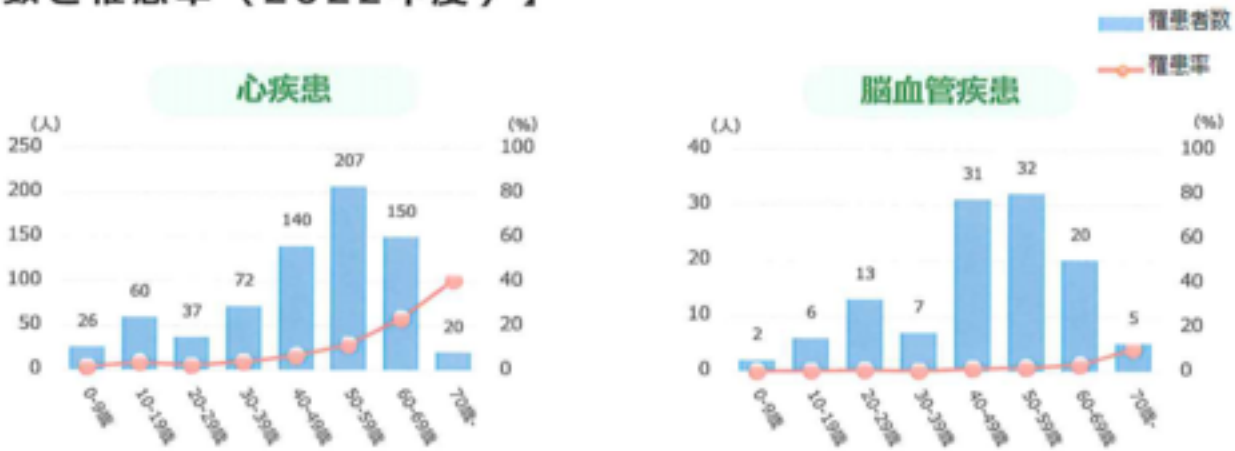
【リスク分析】

	2020年度	2021年度	2022年度	健保平均（2020年度）	2020年度	2021年度	2022年度	健保平均（2020年度）	2020年度	2021年度	2022年度	健保平均（2020年度）
リスク高	689人 15.3%	676人 14.8%	731人 15.8%	20.1%	1,256人 27.9%	1,277人 27.9%	1,264人 27.4%	34.2%	132人 2.9%	136人 3.0%	140人 3.0%	5.6%
リスク中	608人 13.5%	672人 14.7%	692人 15.0%	17.0%	1,027人 22.8%	1,123人 24.6%	1,108人 24.0%	29.8%	853人 18.9%	749人 16.4%	746人 16.1%	27.7%
リスク低	2,448人 54.3%	2,507人 54.9%	2,547人 55.1%	63.0%	1,462人 32.5%	1,455人 31.8%	1,598人 34.6%	36.0%	2,760人 61.3%	2,970人 65.0%	3,084人 66.8%	66.7%
健診未受診・治療歴あり	156人 3.5%	147人 3.2%	146人 3.2%	-	160人 3.6%	161人 3.5%	162人 3.5%	-	135人 3.0%	141人 3.1%	137人 3.0%	-

現状分析

主要疾患分析（心疾患・脳血管疾患［循環器］）

【年齢別の罹患者数と罹患率（2022年度）】



【リスク分析】

	2020年度	2021年度	2022年度
高血圧症のリスク高	689人 15.3%	676人 14.8%	731人 15.8%
脂質異常症のリスク高	1,256人 27.9%	1,277人 27.9%	1,264人 27.4%
糖尿病のリスク高	132人 2.9%	136人 3.0%	140人 3.0%
喫煙	1,121人 24.9%	1,095人 24.0%	1,103人 23.9%
上記４項目全てに該当	4人 0.1%	5人 0.1%	1人 0.0%

「健康日本２１（第２次）」（厚生労働省）によると、脳血管疾患と心疾患を含む循環器疾患は、がんと並んで日本人の主要死因の大きな一角を占めており、循環器疾患の予防は基本的には危険因子の管理で、確立した危険因子としては、高血圧・脂質異常症・喫煙・糖尿病の４つ、とあります。

「健康日本２１（第２次）」では各因子について目標を定めていますが、ここでは、高血圧症・脂質異常症・糖尿病におけるリスクの状況、及び喫煙の状況について左記表のとおり集計しています。

STEP２ 健康課題の抽出

No.	STEP1 対応項目	基本分析による現状把握から見える主な健康課題		対策の方向性	優先すべき 課題
1	ア，イ，ウ，キ	透析予防治療の基準該当者で病院で受診または治療していない人がおよそ36人いる。	→	糖尿病に関して医療機関を受診していない方を減少させ、透析予防治療の基準該当者の医療費を低減を目的とする。	✔
2	カ	特定保健指導の基準に該当するも特定保健指導を受けていない人がおよそ183人いる。	→	特定保健指導の未受診者を減少させ、特に、特定保健指導の判定基準該当者「血圧」の医療費を低減を目的とする。　（医療費で心疾患者が増加傾向のため）	✔
3	エ	被扶養者の方でおよそ650人が特定健診を受けていない。	→	特定健診を受診していない人を減少させ、特定健診を受診した方の医療費を低減させる。	✔
4	ア，イ，ウ，オ，ク	被保険者の喫煙率が全健保平均を大きく上回っており、喫煙者の医療費（喫煙によるリスク者）が増加傾向である。	→	喫煙習慣者を減少させ、喫煙によるリスク者（心疾患、脳疾患）の医療費を低減させる。	✔
5	オ	運動習慣者率が全健保平均よりも下回っている。	→	運動習慣者を増やし、運動習慣者率を向上させる。	✔

基本情報

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	・事業主の拠点は、愛知、岐阜、長野、岩手、東京、福岡に及ぶ29拠点である。	→	各社の実情に応じた展開とフォローを行う

保健事業の実施状況

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	c組合員の運動習慣率の向上を目指した活動を充実させている。（インセンティブ事業「健康チャレンジ」、健康管理センター「リフレッシュエクササイズ」、オンラインウォーキング大会等）	→	多種多様な保健事業で運動に興味を持たせ、運動習慣者率を上げる

STEP３ 保健事業の実施計画

事業全体の目的
1.糖尿病に関して医療機関を受診していない方を減少させ、透析予防治療の基準該当者の医療費を低減する。
2.医療費で心疾患者が増加傾向のため、特定保健指導の未受診者を減少させる。そして、特定保健指導の判定基準該当者「血圧」の医療費を低減する。
3.特定健診を受診していない人を減少させ、特定健診を受診した方の医療費を低減する。
4.喫煙習慣者を減少させ、喫煙によるリスク者（心疾患、脳疾患）の医療費を低減する。
5.運動習慣者を増やし、運動習慣者率を向上させ疾病予防につなげる。

事業全体の目標
1.糖尿病での医療機関未受診者を減らす事で（受診勧奨の実施）、透析予防治療の基準該当者を削減する
2.特定保健指導「血圧」対象者の100%実施を目指すし、特定保健指導の未対応者2022年度対象者割合37.0%（183人）を2029年度対象者割合を大きく減少させる。
3.被扶養者の特定健診の受診勧奨の実施を行い、2022年の被扶養者受診率79.4%に対して被扶養者の特定健診受診率81%以上に引き上げる。
4.喫煙者に対しての禁煙対策事業を継続し、喫煙者の割合を2022年度23.90%を2029年度までに20%まで減少させる。（0.6%減/年）（国：健康日本21は12%）　40歳以上被保険者喫煙率を2021年度34.8%を2029年度までに2022年度全健保平均24.5%以下にする。
5.運動習慣のない方へ呼掛け実施と運動機会の提供を継続する事で運動習慣率2022年度22.20%を2029年度末までに28%まで引き上げる。

事業の一覧

職場環境の整備	
疾病予防	小島健保から適用事業所への健康経営インセンティブ
予算措置なし	事業所別医療費分析レポートの配布
加入者への意識づけ	
保健指導宣伝	ジェネリック差額通知
保健指導宣伝	適正薬剤情報の通知
保健指導宣伝	柔整医療費通知
保健指導宣伝	接骨院のかかり方通知
保健指導宣伝	地域巡回健診等　有所見者受診勧奨
予算措置なし	透析予防治療の基準該当者関係への受診勧奨通知
個別の事業	
特定健康診査事業	特定健康診査
特定保健指導事業	特定保健指導
保健指導宣伝	保健指導
保健指導宣伝	育児情報誌「赤ちゃんと！」の配布
保健指導宣伝	家族で取組みかぜ＆むし歯予防
疾病予防	人間ドック診査
疾病予防	家族健康診査
疾病予防	歯科健診
疾病予防	抗加齢ドック診査
疾病予防	健康管理センター保健指導
疾病予防	家庭用常備薬の補助斡旋
疾病予防	脳ドック受診料補助
疾病予防	インフルエンザ予防接種の補助
疾病予防	禁煙外来補助
疾病予防	禁煙チャレンジ活動
疾病予防	インセンティブ事業「健康チャレンジ」
疾病予防	特定健診結果提供者へのインセンティブ
疾病予防	健康川柳
疾病予防	健康管理センター「リフレッシュエクササイズ」
疾病予防	オンラインウォーキング大会
疾病予防	やわらぎ森のスタジアムウォーキング大会
体育奨励	健保連愛知ウォーキングイベント大会
予算措置なし	体育施設「やわらぎ森のスタジアム」

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円) 実施計画 令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者													
	アウトプット指標												アウトカム指標							
職場環境の整備																				
疾病予防	1	新規	小島健保から適用事業所への健康経営インセンティブ	全て	男女	18～74	加入者全員	1	ア	後期高齢者支援金減算指標に貢献された適用事業所を加点方式で評価し、QOLismアプリの会社主催イベントの補助を行う	ア	-	110 ・評価項目と点数を決める。 ・健康管理事業推進委員会にて公表する。 ・活動開始する。	110 ・優良な事業所にインセンティブを付与する。	110 前年同様	110 前年同様	110 前年同様	110 前年同様	事業所の後期高齢者支援金減算指標への継続的な協力への動機付けとする	透析予防治療の基準該当者で病院で受診または治療していない人がおよそ36人いる。 特定保健指導の基準に該当するも特定保健指導を受けていない人がおよそ183人いる。 被扶養者の方でおよそ650人が特定健診を受けていない。 被保険者の喫煙率が全健保平均を大きく上回っており、喫煙者の医療費（喫煙によるリスク者）が増加傾向である。 運動習慣者率が全健保平均よりも下回っている。
	実施率(【実績値】- 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)-												実施率で評価するため (アウトカムは設定されていません)							
予算措置なし	1	既存	事業所別医療費分析レポートの配布	全て	男女	18～74	被保険者	1	キ	-	ア	オール小島健康経営活動と連携	0 ニッセイ 事業所別医療費分析レポートを毎年４月に全事業所に配布する。	0 前年同様	0 前年同様	0 前年同様	0 前年同様	0 前年同様	会社の健康経営に役立て頂き、健保と事業主間で健康課題を共有し、コラボヘルスに繋げる。	被保険者の喫煙率が全健保平均を大きく上回っており、喫煙者の医療費（喫煙によるリスク者）が増加傾向である。 運動習慣者率が全健保平均よりも下回っている。
	配布率(【実績値】100% 全事業所に配布する。 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)												配布率のみで評価したい為 (アウトカムは設定されていません)							
加入者への意識づけ																				
保健指導宣伝													441	441	441	441	441	441		
	5,7	既存	ジェネリック差額通知	全て	男女	18～74	被保険者	1	キ	切替効果額を委託先より提供を受けている。	シ	-	院内処方、事前、事後通知の成果把握を行い企画見直しを行う。（薬剤通知情報との統合）	未定	未定	未定	未定	未定	後発医薬品を推奨し、医療費負担軽減することを目標とする	該当なし
	通知数(【実績値】900通 【目標値】令和6年度：900通 令和7年度：900通 令和8年度：900通 令和9年度：900通 令和10年度：900通 令和11年度：900通) 事後通知300通×年2回、事前通知300通×年1回 計年間900通を基準とする												シェア率(【実績値】80.6% 【目標値】令和6年度：82% 令和7年度：83% 令和8年度：83% 令和9年度：84% 令和10年度：84% 令和11年度：85%)健保全体のシェア率（院内処方も含む）							
	2,4,5	新規	適正薬剤情報の通知	全て	男女	0～74	加入者全員	1	キ	-	シ	-	650 業者を選定し、レセプトのデータ提供を行う。年1回 該当者に適正薬剤情報を通知する。	650 年1回 該当者に適正薬剤情報を通知する。	650 年1回 該当者に適正薬剤情報を通知する。	650 事業の継続可否を行う。必要に応じて、業者を再選定する。	650 年1回 該当者に適正薬剤情報を通知する。	650 年1回 該当者に適正薬剤情報を通知する。	重複服薬、多剤服薬を把握し、適正服薬かどうかを確認する。セルフメディケーションへ繋げ、薬剤支給を軽減を狙う。	該当なし
	通知件数(【実績値】- 【目標値】令和6年度：360件 令和7年度：360件 令和8年度：360件 令和9年度：360件 令和10年度：360件 令和11年度：360件)-												まずは、通知件数で評価する。 (アウトカムは設定されていません)							
	8	既存	柔整医療費通知	全て	男女	0～74	加入者全員	1	キ	接骨院治療者で長期治療者を対象	シ	-	330 効果把握を行い、費用対効果の高い前期高齢者等に対象者を変更、抽出方法を変更するなど、課題への継続的改善を行い、年２回通知を行う。	330 前年同様	330 前年同様	330 前年同様	330 前年同様	330 前年同様	接骨院治療者で１０ヵ月以上の長期治療者を対象に医療費通知を行い、適正受診かどうかを見極めて頂くことを目標とする。	該当なし
	通知人数(【実績値】120人 【目標値】令和6年度：120人 令和7年度：120人 令和8年度：120人 令和9年度：120人 令和10年度：120人 令和11年度：120人)３か月以上・１万円以上施術で年に２度 １２０名に通知												療養費削減費(【実績値】1,058千円 【目標値】令和6年度：1,100千円 令和7年度：1,100千円 令和8年度：1,100千円 令和9年度：1,100千円 令和10年度：1,100千円 令和11年度：1,100千円)通知送付者の動向を追い、把握する							
	8	新規	接骨院のかかり方通知	全て	男女	18～74	被保険者	1	ス	初めて接骨院にかかる方へ正しいかかり方のルールをご案内して、適正受診を図る。	シ	-	100 計画に基づき実施	100 計画に基づき実施	100 計画に基づき実施	100 計画に基づき実施	100 計画に基づき実施	100 計画に基づき実施	計画とおり通知する	該当なし
	通知件数(【実績値】180通 【目標値】令和6年度：180通 令和7年度：180通 令和8年度：180通 令和9年度：180通 令和10年度：180通 令和11年度：180通)１５通/月×１２か月＝１８０通												通知件数の低減(【実績値】10件 【目標値】令和6年度：10件 令和7年度：10件 令和8年度：10件 令和9年度：10件 令和10年度：10件 令和11年度：10件)-							
													206	206	206	206	206	206		

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円) 実施計画 令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者													
	アウトプット指標													アウトカム指標						
	4	既存	地域巡回健診等　有所見者受診勧奨	全て	女性	18～74	被扶養者	1	イ	地域巡回健診受診者の有所見者で受診勧奨結果報告書の未提出者数、受診済報告者数を把握し、レセプトと突合し、全体の未受診者を洗い出し、受診勧奨通知を行う	カ	あまの創健と連携して行う	地域巡回健診受診者の有所見者をレセプトで確認し、未受診者に対して受診勧奨通知を送付し、受診勧奨を行う。	前年同様	前年同様	前年同様	前年同様	前年同様	地域巡回健診受診者の有所見者で受診勧奨結果報告書の未提出者に対して葉書で受診勧奨通知を送り、受診を促すことを目的とする。（個別に受診勧奨）	該当なし
	通知実施率(【実績値】100%　【目標値】令和6年度：100%　令和7年度：100%　令和8年度：100%　令和9年度：100%　令和10年度：100%　令和11年度：100%)-												通知受診率で把握する為 (アウトカムは設定されていません)							
予算措置なし	4	新規	透析予防治療の基準該当者関係への受診勧奨通知	全て	男女	20～74	基準該当者	1	イ	以下の①②にも該当する場合を「透析予防治療の基準該当者」と定義 ①HbA1cが6.5%以上 又はレセプトデータのICD10がE11-E14 かつ インスリン療法区分が１ ②尿中アルブミン値が30以上 又は eGFR値が30以上 40歳以上の被保険者+被扶養者の方で医療機関未受診者に受診勧奨通知を行う	シ	-	0 実施方法を確立し、発出時期を決める。 通知をは発出し、受診したかどうかを検証する。	0 定期発出する。	0 前年同様	0 前年同様	0 前年同様	0 前年同様	糖尿病に関して医療機関を受診していない方を減少させ、透析予防治療の基準該当者の医療費を低減を目的とする。	透析予防治療の基準該当者で病院で受診または治療していない人がおよそ36人いる。
	受診率(【実績値】-　【目標値】令和6年度：50%　令和7年度：50%　令和8年度：50%　令和9年度：50%　令和10年度：50%　令和11年度：50%)受診者数/受診勧奨通知件数＝受診率												受診率で評価する為 (アウトカムは設定されていません)							
個別の事業																				
特定健康診査事業	3	既存（法定）	特定健康診査	全て	男女	40～74	被保険者,被扶養者	3	ケ,サ	-	ア,イ,カ,コ	-	8,005 ・第4期実施計画書に基づいて実施 ・被扶養者で他で受診済みの方へインセンティブを付与し、健診結果を集める ・申し込み方法を手書きから電子申請に変更し、利便性を向上させる。	8,005 ・第4期実施計画書に基づいて実施 ・治療中患者に対して、かかりつけ医からの検査情報回収並びに特定健診受診を促進する	8,005 第4期実施計画書に基づいて実施	8,005 第4期実施計画書に基づいて実施	8,005 第4期実施計画書に基づいて実施	8,005 第4期実施計画書に基づいて実施	・メタボリックシンドローム に注目した健康状況の把握及びリスク者のスクリーニングが目標。	被扶養者の方でおよそ650人が特定健診を受けていない。
	全体の受診率(【実績値】94%　【目標値】令和6年度：88.6%　令和7年度：89.4%　令和8年度：90.1%　令和9年度：90.9%　令和10年度：91.4%　令和11年度：91.8%)受診率　本人95.0%　家族 81.2%　全体91.8%												受診率で把握する為 (アウトカムは設定されていません)							
特定保健指導事業	4	既存（法定）	特定保健指導	全て	男女	40～74	被保険者,被扶養者	1	ケ,コ	事業所に会場提供と就業時間中に指導できるよう時間調整と配慮を受けている。	ウ	健診機関の保健師等と連携している。	11,502 ・第4期実施計画書に基づいて実施 ・巡回健診での当日初回面談できる会場の増設を依頼する。(７会場増やす)	11,502 第4期実施計画書に基づいて実施 RIZAP等の外部委託を積極的に活用する。（オンライン指導の充実化）	11,502 第4期実施計画書に基づいて実施	11,502 第4期実施計画書に基づいて実施	11,502 第4期実施計画書に基づいて実施	11,502 第4期実施計画書に基づいて実施	・メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）低減化目標	特定保健指導の基準に該当するも特定保健指導を受けていない人がおよそ183人いる。
	全体の実施率(【実績値】68.0%　【目標値】令和6年度：70.0%　令和7年度：71.0%　令和8年度：72.0%　令和9年度：73.0%　令和10年度：74.0%　令和11年度：75.0%)R11年度目標実施率 動機づけ 75.0%　積極的75.0%　全体75.0%												実施率で評価するため (アウトカムは設定されていません)							
保健指導宣伝	4,5	既存	保健指導	全て	男女	18～74	被保険者	1	イ,オ	・ガン、糖尿病等健診項目を含む人間ドックの有所見者を対象とする	ア,ウ,コ	・健診機関（医療センター、岡崎、岐阜）に委託し、保健師を事業所へ派遣し実施している	2,116 特に要治療・要精密検査判定未受診者への指導を行い、重症化予防を行う	2,116 前年同様	2,116 前年同様	2,116 前年同様	2,116 前年同様	2,116 前年同様	人間ドックの有所見者に受診勧奨を行い、重症化防止を狙うことが目標	透析予防治療の基準該当者で病院で受診または治療していない人がおよそ36人いる。
	受診率(【実績値】100%　【目標値】令和6年度：100%　令和7年度：100%　令和8年度：100%　令和9年度：100%　令和10年度：100%　令和11年度：100%)-												実施率で評価したいため (アウトカムは設定されていません)							
	5	既存	育児情報誌「赤ちゃんと！」の配布	全て	女性	18～50	被扶養者	1	ス	-	シ	第１子を扶養登録した被保険者+第1子を出産した被保険者に対して送付	247 無償提供を継続する	247 無償提供を継続する	3,247 無償提供を継続する	247 無償提供を継続する	247 無償提供を継続する	247 無償提供を継続する	初出産の奥様の育児本として役立て頂くことが目標	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
	配布率(【実績値】100%　【目標値】令和6年度：100%　令和7年度：100%　令和8年度：100%　令和9年度：100%　令和10年度：100%　令和11年度：100%)-												出産なので評価外とした (アウトカムは設定されていません)							
													750	750	750	750	750	750		

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円) 実施計画						事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者						令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度		
	アウトプット指標													アウトカム指標						
	8	新規	家族で取組みかぜ＆むし歯予防	全て	男女	5～8	被扶養者	1	ア	5～8歳とその親を対象に親子で手洗い、歯磨きの習慣化を目的に、出来た日にシールを貼る。期間終了後に提出するとプレゼント進呈。	シ	-	家族向けに継続する	家族向けに継続する	家族向けに継続する	家族向けに継続する	家族向けに継続する	家族向けに継続する	計画とおり実行	該当なし
	達成者(【実績値】86人　【目標値】令和6年度：80人　令和7年度：80人　令和8年度：80人　令和9年度：80人　令和10年度：80人　令和11年度：80人)-												達成者で把握する為 (アウトカムは設定されていません)							
疾病予防	3	既存	人間ドック診査	全て	男女	30～74	被保険者,被扶養者	3	ウ,ケ	事業主が費用補助	ア,カ	事業所の法定健診と共同	62,122 健保が契約した健診機関で全事業所が通年にわたり受診する。	62,122 左記同様	62,122 左記同様	62,122 左記同様	62,122 左記同様	62,122 左記同様	・事業所の法定健診と共同で30歳以上の被保険者へ人間ドックを実施し、疾病の早期発見につなげてゆく。 ・事業所から受診勧奨を行っていただき、全員受診を目指す。	該当なし
	人間ドック受診率(【実績値】99%　【目標値】令和6年度：100%　令和7年度：100%　令和8年度：100%　令和9年度：100%　令和10年度：100%　令和11年度：100%)全員受診（１００%）												受診率で把握する為 (アウトカムは設定されていません)							
	3	既存	家族健康診査	全て	女性	20～74	被扶養者	3	ウ,ケ	事業主が費用補助	カ	全豊田巡回健診事業に参加	4,217 契約健診機関または全豊田地域巡回健診にて年1回、希望者は人間ドックを受診する。乳がん、子宮がんも標準コースとする。 申込方法を紙から電子へ移行する。	4,217 前年同様	4,217 前年同様	4,217 前年同様	4,217 前年同様	4,217 前年同様	事業所と共同で配偶者に対して人間ドックを実施し、疾病の早期発見・早期治療につなげ、家庭の「和」を守る。	該当なし
	家族健診受診率(【実績値】76.5%　【目標値】令和6年度：70%　令和7年度：70%　令和8年度：70%　令和9年度：70%　令和10年度：70%　令和11年度：70%)・7割以上の受診率												受診率で把握する為 (アウトカムは設定されていません)							
	3,4	既存	歯科健診	全て	男女	4～74	加入者全員	3	イ,ウ,オ,ク,ケ	・事業所での健診では、総務担当者が受診フォローを行う ・旺志会が事業所に赴くで歯科健診を受診または、人間ドック受診日に豊田地域医療センターで会場を借りいれ実施する。歯科健診後に歯ブラシと歯磨き剤を配り、歯の健康を啓発している。 ・県歯科医師会加盟の歯科医院での健診受診 ・歯科衛生士による歯科保健指導を個別に実施 ・要治療者には、紹介状と来院確認書で受診状況を確認する	ア,カ,コ	・被保険者は就業時間内で歯科健診を受診または、人間ドック受診日に豊田地域医療センターで受診する ・被扶養者（被保険者含む）は、愛知県等の歯科医師会と歯科健康診査業務委託契約を締結し、その加盟の歯科医院での健診受診が可能	18,280 ・歯科健診年間計画に基づいて実施する。 ・県歯科医師会歯科健診のPRを行う。	18,280 前年同様	18,280 前年同様	18,280 前年同様	18,280 前年同様	18,280 前年同様	受診を定着させ、早期の治療・歯の健康意識につなげる。	該当なし
	旺志会被保険者受診率(【実績値】68%　【目標値】令和6年度：70%　令和7年度：72%　令和8年度：74%　令和9年度：76%　令和10年度：78%　令和11年度：80%)・被保険者受診率70%												受診率で評価するため (アウトカムは設定されていません)							
	3,5	既存	抗加齢ドック診査	一部の事業所	男女	25～55	被保険者,被扶養者	1	オ,ク,コ	健診当日に検査結果を専門医が説明し、健康への動機付けを高めていく 5歳刻みの節目年で受診で参加を促進している	ア,イ,コ	就業時間での健診とする	43,273 抗加齢ドックの運営を見直し、新運営で行う	43,273 前年同様	43,273 前年同様	43,273 前年同様	43,273 前年同様	43,273 前年同様	被保険者と被扶養者に対して「老化の兆候」に注目した抗加齢ドックを5歳刻みの節目年に受診、老化度判定を行うことで健康寿命延伸にお役立て頂くことを目標とする。	運動習慣者率が全健保平均よりも下回っている。
	受診率(【実績値】100%　【目標値】令和6年度：100%　令和7年度：100%　令和8年度：100%　令和9年度：100%　令和10年度：100%　令和11年度：100%)-												受診率を評価指標としたい為 (アウトカムは設定されていません)							
	4	既存	健康管理センター保健指導	一部の事業所	男女	40～60	被保険者	1	ス	-	カ	-	0 減算指標に基づいて、糖尿病症腎症等の重症化予防に準拠した取り組みを行う	0 前年同様	0 前年同様	0 前年同様	0 前年同様	0 前年同様	eGFR基準値45以下の被保険者を対象に医師と看護師で病院の補完的検査と相談を行い、糖尿病腎症の手助けを目標とする。	透析予防治療の基準該当者で病院で受診または治療していない人がおよそ36人いる。
	保健指導実施人数(【実績値】4人　【目標値】令和6年度：5人　令和7年度：7人　令和8年度：10人　令和9年度：10人　令和10年度：10人　令和11年度：10人)-												実施人数で評価するため (アウトカムは設定されていません)							
	5	既存	家庭用常備薬の補助斡旋	全て	男女	18～74	被保険者	1	キ,ス	安価な市販薬をWEB申込で斡旋する	シ	年1回9月～10月に展開	0 WEBチラシにてセルフメディケーションを周知する	0 WEBチラシにてセルフメディケーションを周知する	0 WEBチラシにてセルフメディケーションを周知する	0 WEBチラシにてセルフメディケーションを周知する	0 WEBチラシにてセルフメディケーションを周知する	0 WEBチラシにてセルフメディケーションを周知する	セルフメディケーションを奨励する	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
	申込者(【実績値】77人　【目標値】令和6年度：50人　令和7年度：50人　令和8年度：50人　令和9年度：50人　令和10年度：50人　令和11年度：50人)-												申込率で評価するため (アウトカムは設定されていません)							
													1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200		

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円) 実施計画 令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者													
	アウトプット指標													アウトカム指標						
	3	既存	脳ドック受診料補助	全て	男女	18～74	被保険者	1	ス	リスクに応じて健保が8000～16000円を補助	シ	人間ドック申し込みにあわせて、脳ドック申し込み書を配っている	事業所の協力を得て、広報を実施する。	前年同様	前年同様	前年同様	前年同様	前年同様	脳疾患の早期発見、早期治療へつなぐことを目標とする	被保険者の喫煙率が全健保平均を大きく上回っており、喫煙者の医療費（喫煙によるリスク者）が増加傾向である。
	脳ドック受診者(【実績値】94人　【目標値】令和6年度：70人　令和7年度：70人　令和8年度：70人　令和9年度：70人　令和10年度：70人　令和11年度：70人)受診者70名以上													受診率で評価するため (アウトカムは設定されていません)						
	8	既存	インフルエンザ予防接種の補助	全て	男女	4～74	加入者全員	1	サ,ス	事業所で接種ができる2000円/1人1回の補助	ア	-	9,600 健保連愛知の共同事業として参加	9,600 健保連愛知の共同事業として参加	9,600 健保連愛知の共同事業として参加	9,600 健保連愛知の共同事業として参加	9,600 健保連愛知の共同事業として参加	9,832 健保連愛知の共同事業として参加	インフルエンザ予防と重症化回避を目標とする	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
	予防接種者(【実績値】4,005人　【目標値】令和6年度：4,500人　令和7年度：4,500人　令和8年度：4,500人　令和9年度：4,500人　令和10年度：4,500人　令和11年度：4,500人)接種者4500名以上　組合員×42%													接種者で評価するため (アウトカムは設定されていません)						
	5	新規	禁煙外来補助	全て	男女	20～74	被保険者	1	ス	禁煙治療者をサポートし、病院治療者を増やしていく	シ	-	30 HPで定期的に周知PRを実施する	30 HPで定期的に周知PRを実施する	30 HPで定期的に周知PRを実施する	30 HPで定期的に周知PRを実施する	30 HPで定期的に周知PRを実施する	30 HPで定期的に周知PRを実施する	参加者3名	被保険者の喫煙率が全健保平均を大きく上回っており、喫煙者の医療費（喫煙によるリスク者）が増加傾向である。
	参加者(【実績値】0人　【目標値】令和6年度：3人　令和7年度：3人　令和8年度：3人　令和9年度：3人　令和10年度：3人　令和11年度：3人)参加者3名													参加者で評価するため (アウトカムは設定されていません)						
	5	新規	禁煙チャレンジ活動	全て	男女	20～74	被保険者	1	ア	チャレンジャーと支援者でペアを組み、30日間連続禁煙を行う。成功者と支援者にQOLismアプリのポイントを進呈する。（1000～1500ポイント）	コ	-	50 禁煙開始の動機付けが高まりやすい時期として開催時期を12月～1月とする。	50 禁煙開始の動機付けが高まりやすい時期として開催時期を12月～1月とする。	50 禁煙開始の動機付けが高まりやすい時期として開催時期を12月～1月とする。	50 禁煙開始の動機付けが高まりやすい時期として開催時期を12月～1月とする。	50 禁煙開始の動機付けが高まりやすい時期として開催時期を12月～1月とする。	50 禁煙開始の動機付けが高まりやすい時期として開催時期を12月～1月とする。	禁煙チャレンジを継続的に実施し、禁煙サポートに徹する。	被保険者の喫煙率が全健保平均を大きく上回っており、喫煙者の医療費（喫煙によるリスク者）が増加傾向である。
	禁煙チャレンジ達成者(【実績値】3人　【目標値】令和6年度：20人　令和7年度：20人　令和8年度：20人　令和9年度：20人　令和10年度：20人　令和11年度：20人)-													40歳以上喫煙率(【実績値】33.7%　【目標値】令和6年度：32%　令和7年度：30.5%　令和8年度：29%　令和9年度：27.5%　令和10年度：26%　令和11年度：24.5%)令和11年度までに全健保平均24.5（令和4年度）以下を目標とする。						
	5	既存	インセンティブ事業「健康チャレンジ」	一部の事業所	男女	4～74	加入者全員	1	ア,キ	個人の健康づくりの取組を促すために、QOLismアプリを活用しインセンティブを付与する事業	ア	オール小島健康経営活動と連携	8,000 ポイント付与項目を毎年見直す事で、アプリ利用者を維持する。	8,000 ポイント付与項目を毎年見直す事で、アプリ利用者を維持する。	8,000 ポイント付与項目を毎年見直す事で、アプリ利用者を維持する。	8,000 ポイント付与項目を毎年見直す事で、アプリ利用者を維持する。	8,000 ポイント付与項目を毎年見直す事で、アプリ利用者を維持する。	8,000 ポイント付与項目を毎年見直す事で、アプリ利用者を維持する。	QOLismアプリを加入者の健康行動へのきっかけと継続できる支援ツールとしての役目を果たすこと	運動習慣者率が全健保平均よりも下回っている。
	登録者数(【実績値】4,000人　【目標値】令和6年度：4,400人　令和7年度：4,600人　令和8年度：4,800人　令和9年度：5,000人　令和10年度：5,200人　令和11年度：5,400人)被保険者の90%の登録率を目標　5400人													参加人数で評価したいため (アウトカムは設定されていません)						
	3	新規	特定健診結果提供者へのインセンティブ	全て	女性	20～74	被扶養者	1	ア	R4年度家族健診未受診理由で「職場・市の健診を受診する」と回答があった方（52名）から、特定健診項目の結果を提出していただいた方へインセンティブを付与する。（クオカード2000円分）	シ	-	100 計画とおり実施する	100 計画とおり実施する	100 計画とおり実施する	100 計画を見直す	100 計画とおり実施する	100 計画とおり実施する	被扶養者の特定健診受診率向上	被扶養者の方でおよそ650人が特定健診を受けていない。
	回収率(【実績値】-　【目標値】令和6年度：50%　令和7年度：50%　令和8年度：50%　令和9年度：50%　令和10年度：50%　令和11年度：50%)-													回収率で評価するため (アウトカムは設定されていません)						
	2	既存	健康川柳	全て	男女	18～65	被保険者	1	ア	QOLimsアプリから川柳を募集する。1人3句まで。応募者には、インセンティブとしてポイントを付与する。	コ	-	20 被保険者の健康への振返りの機会として継続する	20 被保険者の健康への振返りの機会として継続する	20 被保険者の健康への振返りの機会として継続する	20 被保険者の健康への振返りの機会として継続する	20 被保険者の健康への振返りの機会として継続する	2,020 被保険者の健康への振返りの機会として継続する	応募点数100点。	被保険者の喫煙率が全健保平均を大きく上回っており、喫煙者の医療費（喫煙によるリスク者）が増加傾向である。 運動習慣者率が全健保平均よりも下回っている。
	応募点数(【実績値】203点　【目標値】令和6年度：100点　令和7年度：100点　令和8年度：100点　令和9年度：100点　令和10年度：100点　令和11年度：100点)-													応募点数で評価するため (アウトカムは設定されていません)						
	5	既存	健康管理センター「リフレッシュエクササイズ」	一部の事業所	男女	18～65	被保険者	1	ア	参加者にQOLismアプリから100ポイント/回をインセンティブ付与する	ウ	ヨガ、エアロビ、太極拳の講師を外部委託する	1,483 隔週開催を年間計画表に基づいて実施	1,483 前年同様	1,483 前年同様	1,483 前年同様	1,483 前年同様	1,483 前年同様	被保険者の運動のきっかけづくりと運動不足解消を目標とする。	運動習慣者率が全健保平均よりも下回っている。
	実施回数(【実績値】60回　【目標値】令和6年度：60回　令和7年度：60回　令和8年度：60回　令和9年度：60回　令和10年度：60回　令和11年度：60回)-													実施回数と参加者数で評価するため (アウトカムは設定されていません)						
	参加者数(【実績値】623人　【目標値】令和6年度：400人　令和7年度：400人　令和8年度：400人　令和9年度：400人　令和10年度：400人　令和11年度：400人)-													-						
													-	-	-	-	-	100		

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円) 実施計画 令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者													
	アウトプット指標													アウトカム指標						
	5	既存	オンラインウォーキング大会	全て	男女	18～74	加入者全員	1	ア	QOLismアプリを利用したオンラインウォーキング大会で、各自でウォーキングを行い、アプリで歩数を集計する。参加者には、参加インセンティブを付与する。	コ	QOLismアプリ登録者	個人のWeekend5000と団体のコミュニティウォークの２つのオンラインウォーキングイベントを行う。インセンティブ予算は、健康チャレンジから支出する。	前年同様	前年同様	前年同様	前年同様	前年同様	イベントによる運動習慣の定着化を目指す	運動習慣者率が全健保平均よりも下回っている。
	参加率(【実績値】18% 【目標値】令和6年度：20% 令和7年度：20% 令和8年度：20% 令和9年度：20% 令和10年度：20% 令和11年度：20%)アプリ登録者×20%													参加率で評価するため (アウトカムは設定されていません)						
	5	既存	やわらぎ森のスタジアムウォーキング大会	全て	男女	1～74	加入者全員	1	ア,ケ	インセンティブとして参加者に2,000円のランチを進呈する	シ	-	500 タスキで繋ごう家族・仲間の和の大会を中止し、代わって、やわらぎスポーツセンター内に１周２．２*㎞の特設コースを設け、組合員にウィーキングイベントを提供する。	500 参加者が50人以上集まれば開催する。	500 参加者が50人以上集まれば開催する。	500 参加者が50人以上集まれば開催する。	500 参加者が50人以上集まれば開催する。	500 参加者が50人以上集まれば開催する。	組合員の運動習慣へのきっかけづくりを目標とする	運動習慣者率が全健保平均よりも下回っている。
	ウォーキング参加人数(【実績値】131人 【目標値】令和6年度：150人 令和7年度：150人 令和8年度：150人 令和9年度：150人 令和10年度：150人 令和11年度：150人)-													参加者で評価するため (アウトカムは設定されていません)						
体育奨励	5	既存	健保連愛知ウォーキングイベント大会	一部の事業所	男女	0～（上限なし）	加入者全員	1	ス	-	シ	健保連愛知の共同事業	100 県内行楽地の入園料を健保負担。現地で楽しく歩いて頂き、運動不足解消を図る。	100 県内行楽地の入園料を健保負担。現地で楽しく歩いて頂き、運動不足解消を図る。	100 県内行楽地の入園料を健保負担。現地で楽しく歩いて頂き、運動不足解消を図る。	100 県内行楽地の入園料を健保負担。現地で楽しく歩いて頂き、運動不足解消を図る。	100 県内行楽地の入園料を健保負担。現地で楽しく歩いて頂き、運動不足解消を図る。	10,040 県内行楽地の入園料を健保負担。現地で楽しく歩いて頂き、運動不足解消を図る。	運動の習慣化に向けた動機付けの場とする。	運動習慣者率が全健保平均よりも下回っている。
	申込率(【実績値】100% 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)-													申込率で評価するため (アウトカムは設定されていません)						
予算措置なし	5	新規	体育施設「やわらぎ森のスタジアム」	全て	男女	0～（上限なし）	加入者全員	3	ケ	各種スポーツ大会を開催	シ	適用事業所が幹事を務め大会運営する	0 こじま杯スポーツ大会 こじまフェスティバル等の会社主催の各種運動イベントを開催する。	0 前年同様	0 前年同様	0 前年同様	0 前年同様	0 前年同様	組合員の運動習慣への動機付けとその機会を提供することを目標とする	運動習慣者率が全健保平均よりも下回っている。
	年間利用者数(【実績値】2,643人 【目標値】令和6年度：3,000人 令和7年度：3,000人 令和8年度：3,000人 令和9年度：3,000人 令和10年度：3,000人 令和11年度：3,000人)-													年間利用者数で評価するため (アウトカムは設定されていません)						

注１） １．職場環境の整備　２．加入者への意識づけ　３．健康診査　４．保健指導・受診勧奨　５．健康教育　６．健康相談　７．後発医薬品の使用促進　８．その他の事業

注２） １．健保組合　２．事業主が主体で保健事業の一部としても活用　３．健保組合と事業主との共同事業

注３） ア．加入者等へのインセンティブを付与　イ．受診状況の確認（要医療者・要精密検査者の医療機関受診状況）　ウ．受診状況の確認（がん検診・歯科健診の受診状況）　エ．ＩＣＴの活用　オ．専門職による健診結果の説明　カ．他の保険者と共同で集計データを持ち寄って分析を実施　キ．定量的な効果検証の実施
ク．対象者の抽出（優先順位づけ、事業所の選定など）　ケ．参加の促進（選択制、事業主の協力、参加状況のモニタリング、環境整備）　コ．健診当日の面談実施・健診受診の動線活用　サ．就業時間内も実施可（事業主と合意）　シ．保険者以外が実施したがん検診のデータを活用　ス．その他

注４） ア．事業主との連携体制の構築　イ．産業医または産業保健師との連携体制の構築　ウ．外部委託先の専門職との連携体制の構築　エ．他の保険者との健診データの連携体制の構築　オ．自治体との連携体制の構築　カ．医療機関・健診機関との連携体制の構築　キ．保険者協議会との連携体制の構築　ク．その他の団体との連携体制の構築
ケ．保険者内の専門職の活用（共同設置保健師等を含む）　コ．運営マニュアルの整備（業務フローの整理）　サ．人材確保・教育（ケースカンファレンス／ライブラリーの設置）　シ．その他